＊VoL.116 令和４年９月末日発行

群 馬 支 部 た よ り

JDS 群馬支部ホームページ　　http://jdsgunman.justhpbs.jp/
☆ 発行責任者　日本ダウン症協会　群馬支部支部長

交流会が行われました

令和４年度の幼児部交流会が７月 31 日（ 日 ）にオンラインで開催されました。
参加者５名、先輩保護者２名、「 就学について 」をテーマに行われました。
幼児部役員さんからの感想をご紹介します。

～ 就学について － オンライン交流会を開催して － ～

就学への不安や悩みを相談できる場を気軽に持つことすら難しくなったコロナ禍。幼児部では先輩ママ達にご協力いただき、今年もオンライン交流会を行いました。学校選びの際に重きを置いた点や、就学に向けて準備したことから、就学後の学校での様子や放課後の過ごし方まで、実際の経験をもとに色々お話ししてくださいました。何をしたらいいのか分からない不安が払拭され、就学に向けてのビジョンが見えた気がします。

地域や学校によっても取り組み等違いはあるかと思いますが、今回の交流会がこれからお子さんが成長していく上での一助となれば幸いです。
お忙しいなか、交流会開催に向けてご準備いただいた本部の皆様、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

（ 幼児部の母 ）

令和４年度　第１回群馬支部セミナー

令和４年度第１回群馬支部セミナーが９月２日（ 金 ）に開催されました。
一昨年からコロナ禍のためオンラインで開催していましたが、今年度は感染対策を徹底し、２年ぶりに会場で行いました。

今回は『 高等部卒業後に向けて ～親として考えること ～ 』をテーマに、講師の群馬支部子育て相談室相談員により、ワークショップ形式を取り入れたセミナーを行いました。ミニセミナーの後に小グループにわかれて「 卒業後の気になること・聞きたいこと 」を話し合い、最後に合同の報告会を行いました。参加者は、中学生・高校生のお子さんをもつ親御さんのほかに、小学生の親御さんと福祉に関わる専門職の方でした。

参加されたお二人の方の感想をご紹介します。

～ 第１回群馬支部セミナーに参加して ～

令和４年９月２日（ 金 ）に行われた、2022 年第１回セミナー『 高等部卒業後にむけて～親として考えること～ 』に参加いたしました。

息子は特別支援学校に通う、小学６年生です。６年生になり中学部から始まる『 作業実習 』の授業を体験する機会があったり、面談で先生と卒業後の進路について話し合いを行ったりすることがあり、少しずつ卒業後の姿について考え始めているところです。

今回のセミナーはワークショップ型で行われたので、参加された方々から私自身では思いつかなかった不安や疑問に感じていることを聞くことが出来ました。それらを聞いた時に、「 確かに、それもあるある！ 」と新しく気付くきっかけになりました。そしてそれらに対して先生から親として出来ることの話しがあり、大変勉強になりました。先生のお話しは今すぐにでも出来る事が幾つもありましたので、早速行っていきたいと思います。

親が様々なことを知って学んでいくことは、子どもの様子を知ってかかわり方を深く考えることに繋がっているように感じられます。考えるきっかけを与えて下さりありがとうございました。これからも、親が学べるセミナーをぜひお願いいたします。

（ 小学部の母 ）

～ 共に豊かな生活へ ～

セミナーを受講する前は、学校卒業後は放課後等デイサービスの利用ができなくなり人と関わる機会が減るため、本人の今ある力が消えてしまうのではないか心配でした。しかしセミナーを受講して、本人の力を次の段階へと徐々に移行し穏やかな生活へ導いていけることが分かりました。また、不安を感じていた親亡き後も親の望む支援を受けることが可能であることや、卒業後の進路に向けて必要とされる力を育てるかかわりを教えていただいたことで、一番大事なのは本人が地域社会の中で自分らしく生活を続けていくことではないか。そのためには心と体のバランスを保つことが大切であり、生活するそれぞれの場所で一緒に考える家族や支援者が必要であると認識しました。

卒業後も豊かな生活ができるよう、親として支援して下さる方々と特性を理解した上でコミュニケーションをとっていきたいと思います。

（ 高等部の母 ）

会員さんからの近況報告

～ はじめての大会 ～

息子は現在、特別支援学校の高等部 2 年生です。

先日学校から、県で行われる「 障害者スポーツ大会 」の参加申し込み用紙を持ち帰ってきました。「 障害者スポーツ大会 」は 12 歳以上が参加できますが、コロナ禍で中止だったこともあり、私たちには今回初めてのお知らせでした。参加種目は陸上・水泳・卓球・ボーリングなどがありました。息子は小学 5 年から水泳を始めてクロール・バタフライは泳げるようになっていたので、水泳で参加したいと思いました。しかし、スイミングスクールのプールで泳ぐことはできても、本格的な大会などはもちろん参加したことはなく、親の私も未知の世界であり不安もありました。そこで、スイミングスクールの先生にも相談し 25m自由形と 25mバタフライの 2 種目に挑戦することに決めました。スイミングスクールでも大会に出ることを意識して、先生が声掛けをして練習をしてくれました。

当日会場に着くと、とても大きなプールとテレビで見るオリンピックさながらの風景に、本人よりも親の私が緊張してしまいました。

2 階の応援席から見た息子の様子は、一生懸命まわりを見ながら行動しているのがわかりました。はじめてのプール（しかも深い！）で練習後、まずは 25m自由形。選手紹介されながら入場し、いざスタート。合図からは少し遅れてしまいましたがしっかり泳ぎ切ることができました。また、バタフライは参加者が少なかったこともあり、思いがけず 2 位のメダルをいただくこともできました。

スタート前の少しこわばった表情、泳ぎ切ったあとのすっきりした表情、表彰式での満足そうな表情・・・さまざまな息子の表情に成長を感じることができました。帰り道の息子は達成感いっぱいの様子で、思い切って参加してよかったと思いました。

残り少ない学校生活、さまざまな経験をして、いろいろなことを感じてほしいと思いました。

（ 高等部の母 ）

日本ダウン症協会群馬支部ホームページでは【 相談室 Q&A 】を掲載しています。
そちらもぜひご覧ください。 （ http://jdsgunman.justhpbs.jp/new/?p=4121 ）

次回の支部たよりは 11 月下旬に掲載を予定しています。

1988 JDS ぐんま

日本ダウン症協会群馬支部 HP